

第2回精神部会事務局会議（H29. 7. 11）のご報告

<事務局構成機関> ゆたか希望の家・地域活動支援センターしかやま・鳴海ひまわりクリニック・はたらく工房・メンタルクリニックみなみ・LITALICOワークス・ワークセンターメイプル・緑保健所・緑障害者基幹相談支援センター

< 内容 >

「1. 精神部会企画講演会について」「2. 自立支援連絡協議会運営委員会（5/18（木））・全体会（6・13（火））・南ブロック連絡会（7・11（火））の報告」「3. 第7回障害のある人もない人も共につくる緑区民のつどい（以下「つどい」）の実行委員会報告」「4. 各構機関の現況報告」「5. 精神保健福祉を取り巻く情勢」の5点を議題としました。



「1」については、7月8日に開催した講演会についての意見交換を行い、「多くの人に関心があるテーマであった」「シンポジウム形式も採用し、当事者の発言もあった」こともあり入場者が過去最高の入場者となったことを評価するとともに、音響・空調などについての反省点を確認しました。「2」「3」については、自立支援連絡協議会関係各会議の

内容を共有しました。具体的には、全体会の内容や他の会議で議題となった「第5期障害福祉計画策定にむけて各部会から課題を挙げていくこと求められている」「緊急ショートステイの不足を南ブロック会から市自立支援連絡会へ課題として提出予定」などについて報告がありました。また、「つどい」については、準備を進める上での留意点などについて意見が出されました。

「4」については、各機関の利用状況や受入体制を中心に意見交換を行いました。

「5」については、「第5期障害福祉計画にかかる国の基本方針の見直し」で示されている「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」について学ぶ（県内では半田市がモデル事業を実施・国障害保健福祉主幹課長会議の資料にも記載）とともに、緑区での暮らしを支えるための地域力強化をめざした連携推進について話し合いました。

その他に、緑保健所から、従来名古屋市・愛知県合同で開催してきた「地域移行」の研修会を、市内を4ブロックにわけ、ブロック単位で開催するべく準備中であると報告がありました。

